必ずお守りください。安全上のご注意 ▶

⚠ 注　意

<掛け方について>
時計は確実に掛けてください。
落下により、けがおよび器物を破損する恐れがあります。
掛ける場所、壁の材質・構造をご確認の上、この時計の重さに充分耐えられる掛け具を選んでください。ご使用の際は掛け具に同梱の案内文も必ずお読みください。
記載以外の取付面の場合は、建築メーカー等へご相談ください。

※掛け具に時計を掛けた際、時計を上下左右そして手前に軽く動かし、正しく掛かっていることを確認してください。

木の厚い壁・木の柱に掛けるとき
添付の木ねじをご使用ください。

石膏ボードの壁に掛けるとき
添付の掛金具、釘をご使用ください。

コンクリート等、上記以外の壁・柱に掛けるとき
添付の掛け具は使用しないでください。
市販の掛け具をご使用ください。

⚠ 警　告

<アルカリ電池について>
(1)ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。
アルカリ性溶液がもれて眼に入ったり、発熱、破裂の原因となります。
(2)万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣類に付着した場合にはきれいな水で洗い流し、眼に入ったときは、きれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
<梱包用ポリ袋について>
ポリ袋は絶対にかぶらないでください。

⚠ 注　意

<時計の設置場所について>
落下や転倒により、けがおよび器物を破損する恐れがありますので、振動のある所や、不安定な場所には時計を設置しないでください。

⚠ 注　意

<電池について>
下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えますと液もれや破裂のおそれがあり、機器の故障やけがなどの原因となります。
(1)⊕ ⊖を正しく入れてください。
(2)製品仕様の電池寿命を経過した場合は、時計がまだ動いていてもすべて指定の新電池と交換してください。また、時計を使わないときは電池をすべてはずしてください。電池の一部の交換や、電池を入れたままにしておくと、他の部分の止まりや古い電池からの液漏れ等で時計や、周囲の物を汚したり、傷めたりする恐れがあります。
(3)この電池は充電式ではないので充電すると液もれ、破損のおそれがあります。
(4)電池に直接ハンダ付けしたり、水滴をつけないでください。
(5)直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。また使用済みの電池は、速やかに処分するまたは幼児の手の届かないところに保管してください。
(6)時計が動かない等の場合、電池端子が汚れている場合があります。やわらかい布などでクリ-ニングしてください。
(7)添付の電池は工場出荷時より付けられています。時計の電池寿命は製品仕様の表示より短いことがあります。

製品仕様 ▶

●精　　　　度：平均月差±２０秒
（電波受信による時刻修正を行なわない場合）
（気温５℃から３５℃で使用した場合）
●表　示　精　度：±１秒（時分針は±３度）
（電波受信による時刻修正を行なった直後）
●使用温度範囲：－１０℃～＋５０℃
●使　用　電　池：単３マンガン乾電池１個（ＪＩＳ規格 Ｒ６Ｐ）
単２アルカリ乾電池２個（ＪＩＳ規格 ＬＲ14）
●電　池　寿　命：約１年
（１日につき音量（中）の状態でメロディを１６回鳴らした場合）
●電波受信機能：自動受信（１日 ８回）
（受信から次の受信まではクオーツの精度で動いています。）
手動受信（強制受信）
※４０kHz，６０kHzのいずれか受信しやすい電波を自動受信します。
●受信結果確認機能：ボタン操作により受信結果をＬＥＤライトで表示
●時 刻 合 せ 機 能：電波受信による自動セットまたは手動セット
●時　　　　報：曲自動切換
●音　量　調　節：無段階式
●夜間鳴り止め機能：光センサーにより自動鳴り止め

＊上記の製品仕様は改良のため予告なく変更する場合があります。

SEIKO

掛時計

取扱説明書

電波クロック

このたびはセイコークロック商品をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご愛用くださいますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書はお手元に保存し、必要に応じてご覧ください。

本製品、ならびにアフターサービスなどにつきましてご不明なことがございましたら、製品本体の裏面または底面に表示してあります製品番号(品番)をご確認のうえ、セイコークロック(株)お客様センターにお問い合わせください。
（例：ＡＭ○○○、ＰＷ○○○、ＫＧ○○○など）

お客様センター　フリーダイヤル　0120-315-474
http://www.seiko-clock.co.jp
発売元
セイコークロック株式会社
Ⓛ
説明書番号　AHS-041J

必ずお読みになってからご使用ください。使用場所・お手入れ ▶

使用場所について

下記のような場所では使わないでください。

機械や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起こすことがあります。また本商品は業務用ではありません。

暑い場所（＋50℃以上）

寒い場所（－１０℃以下）

振動の激しい場所

湿気の多い場所

●温度が＋５０℃（５０度）以上になる所や直射日光のあたる所。
例えば、屋外、暖房器具などの熱風や火気に近い所。
●温度が-１０℃（氷点下１０度）以下になる所。
［プラスチック部品や電池の劣化が起きることがあります。］
●塵、埃の多い所。
［空気中に舞い上がったごみが歯車や接点に挟まって時計が止まったり、音が鳴らなくなることがあります。］
●大型テレビ・スピーカーのそばや、強い磁気のある所。
［磁力の影響で進み、遅れを生じたり、時計が止まることがあります。］
●浴室など湿気の多い所。また、水がかかる所や加湿器の蒸気が直接あたるような所。
●振動のある所。不安定な所。
●工場、台所など多くの油を使用する所。
［霧状になった油分が機械の歯車等に付着し時計が止まることがあります。］
●ビニール系素材の壁や敷物等の上。
壁や敷物および時計を汚したり傷めることがあります。
●木枠の時計の場合には、空気が非常に乾燥した状態や湿気の多い状態が続くと、枠が傷むことがあります。
また、４０度以上の高温になりますと、接合部のフクレやハガレが起きる場合があります。

お手入れについて

長くご愛用いただくために、２・３年に一度の点検・調整(有料)をおすすめいたします。販売店にご相談ください。

●ベンジン、シンナー、アルコール、ミガキ粉、各種ブラシなどは使わないでください。殺虫剤、ヘアスプレーなどもかからないようにしてください。変色、傷の恐れがあります。

プラスチック枠の時計の場合
●枠をふくときは、湿った、やわらかい布でふいてください。
●よごれがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を少量、やわらかい布につけてふき、ふいた後で乾ぶきしてください。

木枠・金属枠の時計の場合
●よごれやほこりをとるときは、やわらかい布で乾ぶきしてください。

※お客様が分解しますと、修正不可能になる場合やけがの恐れがあり大変危険です。また保証の対象外となりますのでご注意ください

保証・アフターサービス ▶

●この時計はメーカー保証です。
保証の内容については別添の保証書をご覧ください。
尚、保証書は日本国内のみ有効です。
また、アフターサービスも海外ではできません。
●保証期間中の保証規定に基づいた修理品は、お買上店がお預かりしメーカーが無料で修理いたします。必ず販売店名捺印の保証書を添えてご依頼ください。
●保証期間中でも無料修理の対象とならない修理品および保証期間経過後の修理品は、ご希望により有料で修理させていただきます。

●この時計の修理用部品は、７年間保有しています。
この期間は原則として修理が可能です。
修理用部品とは製品の機能を維持するために不可欠な時計本体の部品です。修理の可能な期間は、ご使用条件により異なります。また修理可能な場合でも元通りの精度にならない場合があります。お買上店とよくご相談ください。
●修理のとき、部品・その他の付属品は、一部代替部品を使用させていただくこともありますので、ご了承ください。
●保証期間外、もしくは無料修理の対象とならない修理の際は、本体の修理料金のほか、取扱店と修理工場との間の往復運賃、諸掛り費用をお客様にご負担いただきます。代金が標準小売価格を上回る場合があります。
●保証期間中・経過後とも、修理品はお客様がお買上店にお持込みいただきます。修理を依頼されるときはお買上店にご持参ください。

●ご不明の点はお客様センターにお問い合わせください。

故障かな？と思ったときには ▶

製品が正常に作動しないときは、修理を依頼する前に、この表を参考にお調べください。なお電池は買い置き品でなく、新規購入品をご使用ください。

症　状	考えられる原因	処　置
針が動かない	・電池が入っていない。 ・電池が正しい向きで入っていない。 ・電池端子および接片の汚れ。 ・静電気などによりマイコンが誤作動している。 ・強制受信中または時刻修正中である。	・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れてください。 ・電池端子および接片の表面を拭いてください。また、電池を入れて２～３回まわしてください。 ・リセットボタンを押してください。 ・受信終了後通常の運針に戻ります。
針が不規則に動く	・強制受信中または時刻修正中である。	・受信終了後通常の運針に戻ります。
スイッチ操作が効かない	・受信に成功し、時刻修正中である。 ・リセット後、受信動作中である。	・時刻修正動作が終了してから、再度 スイッチ操作をしてください。
時刻が合っていない	・受信が成功していない。 ・電池が古くなっている。 ・きちんとリセットされていない。	・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れてください。 ・確実にリセットボタンを押してください。
メロディが鳴らない	・切替スイッチがＯＦＦになっている。 ・ボリュームが下がっている。 ・暗くなりセンサーが作動している。	・スイッチをＯＮにしてください。 ・ボリュームを上げてください。 ・センサー付の時計は暗くなるとメロディは鳴りません。時計の周囲が明るくなると鳴ります。
振り子が動かない	・電池が入っていない。 ・電池が正しい向きで入っていない。 ・振り子がロックされている。	・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れてください。 ・ご使用方法にしたがって、振り子のロックをはずしてください。

電波クロックについて

● **電波時計／電波修正機能とは**
正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、現在時刻を表示する時計です。

● **標準電波とは**
通信総合研究所が運用している時刻情報をのせた電波で、国内２ヵ所の標準電波送信所からそれぞれ異なる周波数で送信されています。標準電波の時刻情報はおよそ１０万年に１秒の誤差という超高精度を保つ『セシウム原子時計』によるものです。

● **電波受信について**
各々の送信所からの受信範囲の目安は、条件により異なりますがおおむね１０００ｋｍ～１２００ｋｍです。
個別の状況により異なりますが、東日本地域は４０kHz（福島送信所）、西日本地域は６０kHz（九州送信所：福岡・佐賀の県境）の電波がより受信しやすいものと想定されます。この製品は４０kHz，６０kHzのいずれか受信しやすい電波を自動的に選択し受信します。
ただし、天候、置き場所、時計の向き、時間帯あるいは地形や建物の影響などによって受信できない場合があります。

■ご注意
●電波障害等により、誤った受信をした際に、誤った時刻を表示する場合があります。また使用場所・電波状況によっては受信できない事があります。このような時は、場所を変えてお使いください。
●電波を受信できない場合は、内蔵クオーツの精度で計時します。
●標準電波は、毎時15分と45分からの各1分間はコールサインの送信を行うため一部時刻情報の送信を中断します。また設備のメンテナンスや落雷などの影響により停波することがあります。停波に関する情報は、通信総合研究所(CRL)のホームページをご覧になるか、お客様センターにお問い合わせください。（ホームページアドレス　http://jjy.crl.go.jp）

● **使用場所について**
本製品は、テレビやラジオと同様に電波を受信するものです。ご使用の際はできるだけ、電波を受けやすい窓際などに掛けてください。
また、電波ノイズを発生させるものの近くでのご使用は避けてください。
その他、次のような環境条件では正確に受信できないことがあります。
ａ）ビルの中、ビルの谷間、地下。
ｂ）高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く。
ｃ）テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やＯＡ機器の近く。
ｄ）工事現場、空港の近く、軍事基地や交通量の多い所など、電波障害の起きる所。
ｅ）乗り物の中（自動車、電車、飛行機など）
ｆ）スチール机等の金属製の家具の上や近く。

■ ご使用方法

ご使用の前に付属品をご確認ください。
●単３マンガン乾電池１個　●単２アルカリ乾電池２個
●掛け具（①木ねじ１本➡木の厚い壁・木の柱専用
　　　　　②掛金具1個、釘５本（うち１本は予備）➡石膏ボードの壁専用）
●振り子１個　●取扱説明書（本書）１枚　●保証書１枚

振り子止め　LOCK　RELEASE　ふた

●時計の裏のふたをはずしてください。
●時計の裏の上部にある振り子止め（２ヵ所）を
ＬＯＣＫ（ロック）からＲＥＬＥＡＳＥ（リリース）にして、振り子のロックを解除し、引き抜いてください。

１．電池を入れる　単３マンガン乾電池　１個　　単２アルカリ乾電池　２個

① 電池を入れてください。　⊕⊖をまちがえないように注意してください。
② リセットボタンを押してください。(ボールペンの先などで押してください。)
※リセットボタンの位置は「■操作部」を参照してください。
秒針が「１２時の位置」で停止後時分針が動き出し、下記時刻のいずれかで一時停止し、受信を開始します。
（１：５０，３：１０，５：５０，６：１０，８：３０，９：１０，１１：１０，１２：１０）

■ご注意
電池交換時は、必ずリセットボタンを押してください。

③ 本機を使用したい場所に掛けてください。
この際、窓際などできるだけ受信しやすい場所に掛けてください。
● 受信中はＬＥＤライトが信号に応じて点灯します。
点滅中：受信状態の良好な周波数を選択しています。（約１分間）
点灯中：選択した周波数で時刻情報を受信しています。
● 受信開始後最初の約２秒間は必ず赤色のＬＥＤライトが点灯します。
受信中は、ＬＥＤライトの色によって【表：１】のように受信状態を示します。（最長約４０分間）

【表：１】

ＬＥＤライトの状態	受 信 状 態
緑色が連続点灯	電波状態が良く受信可能
緑色が連続点灯し、たまに赤色点灯	電波状態が比較的良く受信成功の可能性がある
赤色と緑色が同じくらいの割合で点灯	電波状態が悪く受信成功の可能性が低い
赤色が連続点灯し、たまに緑色点灯	電波状態が悪く受信成功の可能性が非常に低い
赤色が連続点灯	電波状態が悪く受信不可能

● 受信に成功した場合
受信が成功するとＬＥＤライトが消灯し、自動的に時分針を現在時刻に合わせます。その後「０秒」に合わせて秒針が動き出します。

● 受信できなかった場合
ＬＥＤライトが消灯します。
このとき時分針の時刻修正は行いません。下記「２．時刻の合わせかた」の方法にしたがって場所を変えて再度受信させるか、手動操作で時分針を現在時刻に合わせてください。

２．時刻の合わせかた

２.１ 電波を強制的に受信して時刻を合わせる
受信モニターボタンを約２秒以上押し続けると受信を開始します。
受信に要する時間は、最長約４０分間です。
● 受信中は、ＬＥＤライトが信号に応じて点灯します。
【表：１】参照
※受信中は運針が停止することがあります。
● 受信ができない場合は、場所を変えてもう一度受信させてください。
詳しくは「電波クロックについて」をお読みください。
また、１日の内で夜間のほうが昼間にくらべて比較的受信状態が良くなりますので、受信できなかった場合でも一昼夜掛けることにより受信できる場合があります。
※受信できなかった場合、針はもとの時刻に戻ります。

２.２ 手動で時刻を合わせる
標準電波を受信できない場合は、手動で時刻を合わせることができます。
① モードボタンを２秒以上押すと、秒針が「１２時の位置」で停止します。
② 受信モニターボタンを１回押すと、分針を１分づつ送り、押し続けるとボタンを離すまで、送り続けます。
③ モードボタンを押すと同時に、針が動き出します。

３．自動受信

① 毎日８回、自動で受信を行ないます。
（自動受信時、ＬＥＤライトは点灯しません。）
② 受信に成功すると現在表示している時刻を修正します。
※受信中(最長約４０分間)は不規則な動きをすることがあります。
●秒針：１２時の位置で停止
●分針：約３０秒毎に運針

４．受信結果を見る

通常運針中に受信モニターボタンを1回押す(２秒以下)と受信結果を表示します。
●２４時間以内に受信できた場合は“緑”が点滅します。
●２４時間以内に１度も受信できなかった場合は“赤”が点滅します。

５．電波受信を止める

この時計には下記手順により、電波受信を止める機能があります。
（誤受信の防止や、設定時刻をずらしてお使いになりたい場合等にご使用ください）
① モードボタンと受信モニターボタンを押しながら、リセットボタンを押してください。
リセットボタンを放した後、モードボタンと受信モニターボタンを放してください。
② 時分針が動き出し、所定の時刻で一時停止した後、通常運針を開始したら「２.２ 手動で時刻を合わせる」にしたがって時刻を合わせてください。
●この機能を設定した後も受信モニターボタンを２秒以上押すと強制受信を開始しますが、その後自動的に受信はしません。
●この機能を解除するには、リセットボタンを押してください。

６．メロディを鳴らす・または鳴らさない

メロディ操作部の切替スイッチをＯＮまたはＯＦＦにしてください。
「ＯＮ」ーーーー毎正時にメロディが鳴る
「ＯＦＦ」ーーー毎正時になってもメロディは鳴らない

７．音量を調節する

メロディ操作部のボリュームつまみをまわして、音量を調節してください。
「ＭＩＮ.」ーーーー音量　最小
「ＭＡＸ.」ーーーー音量　最大

● **受信・報時中の操作について**

動作＼操作	鳴り止め（ON→ＯＦＦ）	試し鳴らし（モニター）	強制受信	受信結果表示
正時報時中	メロディが鳴り止まる	次の曲を演奏する	受信を開始する	4.と同じ
試し鳴らし中	メロディが鳴り止まる	次の曲を演奏する	受信を開始する	4.と同じ
自動受信中	――	メロディを演奏する	受信を開始する	無 効
強制受信中	――	メロディを演奏する	無 効	無 効

● **試し鳴らし（モニター）**
モニターボタンを押すと、時刻に関係なくいつでもメロディを鳴らすことができます。また、モニターボタンを押すごとに曲が切り替わり曲を順に聞くことができます。
試し鳴らしを途中で止めるときは、メロディ操作部の切替スイッチを一旦「ＯＮ」に合わせてから「ＯＦＦ」にしてください。

● **光センサーによる自動鳴り止め**
暗い所（約１０ルクス以下）では、報時は致しません。
暗い所では、メロディの音を気にすることなくおやすみになれます。

８．振り子を掛ける

振り子掛けを左に動かして振り子止めピンからはずし、ぶらぶらの状態にして、振り子を掛けてください。

９．ふたを閉める

時計の裏のふたを、もとの位置にはめ込んでください。

■ 操作部

注）時計のデザインによりＬＥＤライト及び電池、ボタンの位置等は異なる場合があります。

■ ご注意
● この製品は、日本標準電波仕様ですので、海外で電波修正機能は使用できません。
● 電池交換時は、必ずリセットボタンを押してください。
● 時計を輸送する場合は、電池と振り子をはずし、振り子掛けを元の通り固定してください。